

○質問者　すると、その段階で、ですから、11日の夕方の段階で。

○回答者　もう電源だめと、まず、考えましょうという中でいうと、電源に頼らないものは、DDの消火ポンプか、それこそ消防車ぐらいしかないねと、そこを重点に考えるしかないと、ただし、電源がもし復旧できるのであれば、勿論それを優先的に復旧して使っていくということを考えました。

○質問者　だんだんわかってきたところだと、どうも2Cが使えると、となると、今度は引っ張ってきてSLCだとかCRDみたいな話になってくると。

○回答者　はい。極力拾える負荷はそこから拾えと。

○質問者　ちなみに、この辺のドライウェルクーラーとか、原子炉冷却材浄化系回りのポンプを駆動させるための電源というのは、例えば2Cから引っ張ってきて、これにつながるというのは可能なんですか。

○回答者　RCWは、やはり難しかったと思ったのは、それも全部検討したんです。だから、2Cから拾える負荷は何というときに、これが入ってきていなかったの、ちょっと理由はわからないんです。検討して結果を出せとっている話しかないの、その途中経過をいちいち確認する時間もないので。

○質問者　そうすると、やはりここに書いてあるようなアクシデントマネジメントの中で記載のある辺りの除熱の関係だと、あるいは注水のところ、こういうところについては、一応、検討の俎上に乗っかって、電源が必要なものについても、それで2Cから引っ張ってこられるものは何かということや、やったときの取捨選択の中で残ったのがSLCとか、そういう話になってくるということですね。

○回答者　はい。

○質問者　あとは、ここの中でやると、格納容器の関係では耐圧強化ベントというのは、これは今回やったことですね。

○回答者　はい。

○質問者　これを見ると、ベントの関係ですと、従来から不活性ガス系とか、非常用ガス処理系、SGTSのところですかね。それを通したベントというのが手順書化されていたということで、それに加えて、耐圧強化ベントというのを、このときは整備しましたよということが書いてあって、今回は、そういうSGTS系を通したベントというのは、検討はされているんですか。

○回答者　これは、圧力が高いので、逆にSGTSを通してしまうと、もともとSGTSも耐圧の問題だとか、普通のノーマルな圧力でしか引いていないので、80キロでしょう、8.5キロとか、0.8メガとか、メガパスカルですから、通常で8キロ、9キロ、圧力をいきなりぼんと開けたときの配管とトレーができていますから、強度的にまずもたないです。だから、これぐらいの圧力が上がってしまうと、耐圧強化ベントしかないということですね。

○質問者　この文章を見ると、格納容器の圧力が上昇する場合の対応として、従来から備えられたものとして、このSGTS系のベントがあるように書いてあるんですけども。

○回答者 これは、そんなに圧力が上がるような事象を考えていないわけですよ。従来の考え方は、ちょっと何かトランジェントで、ちょっと圧力が通常の1キロから1.5キロに上がるだとか、それぐらいのときのことは考えていますけれども、シビアアクシデントのときの0.85メガだとか、そういうぐらいまで格納容器圧力が上がるときに、不活性ガス系だとか、SGTSというのは、もともとの配管な強度とか、そこで設計されていないですから、だから、逆に言うと、ぶっ飛んでしまうというふうなものだと、要するに設計思想がちょっと違うんです、ここで言っている、こういう。

○質問者 要するに、シビアアクシデント対策としては、恐らくこの時点でも、このSGTS系のベントラインだけ持っておけば事足りるというふうには考えていないから、新たにこうやって作っているということで、現実には、今回の事象はとても耐えられる状況ではないだろうということで、耐圧強化ベントと、これは当初からそういう600と分かってからドライウエルの圧力が、という考えですね。

○回答者 そうです。

○質問者 その次です。今度は、7ページで安全機能のサポート機能に関わるアクシデントマネジメント策というところに、ここの中で、1つが電源の融通というのがあって、これは、5、6号機ではやっていますね。まさに複数機立地のメリットを生かしということで、ほかは、相手方の方の電源、例えば1号機からすると2号機、2号機からすると1号機、3号機からすると4号機、4号機からすると3号機、いずれもだめになっているから、そもそも融通する電源がないということで、ちょっと使えなかったということですね。

○回答者 はい。

○質問者 それから、非常用ディーゼル発電機の復旧と、ここに書いてありますけれども、これもさっきのお話で、数か月単位のスパンを考えると、とても復旧というのは無理なわけですね。

○回答者 はい。

○質問者 「すべてのAC電源が喪失する事象では、事象の進展は遅く、時間的余裕が大きいことから」と書いてあるんですけども、これは何で事象の進展は遅いとなるんですかね。これは、何かそういう考えだったんですかね、もともと。

○回答者 安全屋ではないので、どう対応したらいいかというところはよくわからないけれども、ここでどんな事象を考えていたかよくわからないですね、あのほかども、今回、全然役に立たなかった。

○質問者 では、こちら辺はよくわからないと。

それから、非常用ディーゼル発電機の専用化ということで、これは、もともとはこの1、2号機に1つだったんですか、その非常用ディーゼル発電機というのは。

○回答者 いや、そうではないです。1、2号機で、要するに専用のものが、もともと1号と2号があって、1、2号共用が1個あって、大元の設計はですね。それで、1号専用が1個あって、2号専用が1個あって、これを両方で使うと、こういう。